

団体名	公益財団法人京都国際学生の家						
事業名	食文化を中心に据えた国際交流と地域との共生						
実施期間	2021年8月7日～2022年1月24日						
場 所	京都国際学生の家						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	58	32	70	66	13		239名

### <実施内容>

京都国際学生の家は外国人学生と日本人学生が生活を共にし、様々なイベント、中でも食を通じたイベントで国際交流を深めていく伝統があります。昨年に続き中島記念国際交流財団様の助成を受けて、これらの伝統行事を開催することができました。ただ今年度もコロナ禍による影響で留学生の渡航が制限され、多くの方と触れ合う機会も細心の注意を要する必要があり、事業実施にはたくさんの困難がありました。

8月の「国際食べ物祭り」では寮生の作る中国、台湾、韓国、ベトナム、ウガンダ料理が所狭しと並びました。例年ですと立食形式の開催ですが、今年はその場での飲食は避け、テイクアウトのお弁当での提供となりました。しかし、参加者からは異文化交流と開催の工夫に大変好評をいただきました。11月には「謝恩会」も手作りの多国籍なお弁当でおもてなし。寮生や寮関係者による音楽やダンスのパフォーマンスを行い、時には参加者もダンスに飛び入り参加しイベントは大盛況でした。12月の「Christmas Party」はコロナ感染状況が一旦落ち着きを見せていたこともあり、対面での食事を楽しみました。クリスマスにちなんだ様々な種類の料理が準備され、色とりどりに飾られたクリスマスデコレーションの中、景品を争ったゲームや寮生からの歌やダンス、コントなどのパフォーマンスを行い、参加者も大満足の夜となりました。10月、12月、1月には「食事会」が開催されました。これは1965年の設立以来続く京都国際学生を家の伝統です。今年度も寮生たちがそれぞれ工夫し、様々な料理を披露してくれました。しかし残念ながら1月28日に予定していた食事会はコロナ感染状況の悪化により中止となりました。これらの行事により、「料理を共に食す」ということがどれだけ人と人との交流に大きな役割を果たすかということがよく分かります。その国の料理がどのような土地で生まれ、そこどのような意味があるか、そういったこともイベントでは語られることでより深い国際交流が生まれます。コロナ禍というこれまでにない世界の状況で特に「食」から始まる交流が盛んにできないことは非常に残念ではありましたが、今後も人との交流を諦めない工夫で国際交流を行っていきたいと考えています。

### <記録写真>



謝恩祭  
(感謝を忘れず)



コモンミールを楽しんでいる様子



クリスマスパーティー  
Singing Christmas carol

### <参加者からのコメント>

Stellahさん ウガンダ (Uganda)

I would like to appreciate the foundation for their continued support to these wonderful events that bring us together to understand and celebrate our diversity. Through them, I have learnt alot about the Japanese culture, made many more friends and enjoyed very delicious festivities. Many thanks again for all... Blessings Always.

Soumyaさん インド (India)

We are deeply grateful to the foundation for their constant support towards the house events. Through these events we not only have a chance to make foreign friends but also learn and understand each other's cultures. Personally, this has helped me grow and enjoy life in Japan.